

ヒューマンファクターとSHELLモデル

1 ヒューマンファクター

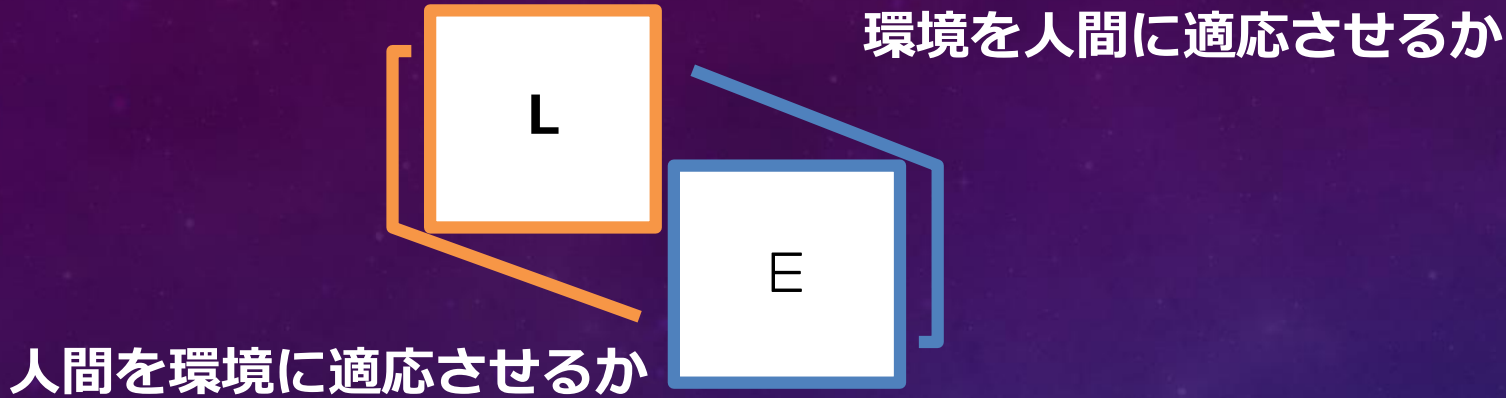
1) ヒューマンファクターとは何か？意味と定義

ヒューマンファクター(human factor)とは・・・

組織や設備、その他さまざまな環境における**人間側の行動特性**のこと



S	Software (ソフトウェア)	手順書やマニュアル、規則など
H	Hardware (ハードウェア)	機器や機材、設備、施設の構造など
E	Environment (環境)	温度や湿度、照度など
L	Liveware (当事者)	インシデントに関与した本人
L	Liveware (当事者以外)	当事者以外のチーム、同僚など



ヒューマンエラー

目の前の状況に対して、人間が異なるモデルを適用したときに発生する
人間による要因以外の理由でエラーが発生したなら、そのエラーはヒューマンエラーではない

エラーを発生させないよう、安全な環境を整備することは重要なこと
その環境を創るのも、また**人間**です
ヒューマンエラーの防止を目指すのが、**ヒューマンファクター**の意義です

2) ヒューマンファクター～人間の行動特性



① 錯覚

錯覚は目の状況を見誤ること
認識を誤ることにより、後の行為が状況に合わないものとなる。
ヒューマンエラーの中でも非常に多いパターンの特徴になる。

② 不注意

不注意とはその意識を欠いた状態ということになる。
「うっかりしてしまった」「見落としてしまった」などの行為。

③ 近道行動

近道行動とは、「何らかの事情」によって怠ること。
意図的に行う場合もあれば、意図せずに行う場合もある。

④ 省略行動

省略行動とは、一部を省略し目的を達成しようとする事。
マニュアルを遵守せず、早く簡単に済ませてしまおうとすること。
時間的プレッシャーがある場合や複雑な業務を行うことへの惰性など。

3) ヒューマンファクター～行為の7段階モデル

例：「ペットボトルの水を飲む」という行為

